

社会的養護における「家庭」・「家庭的」について考える

～ 養育者が紡いでいくもの ～

現在の社会的養護においては、家庭養護の推進が委託率の目標とともに示され、家庭的養護については、施設の小規模化かつ地域分散化を進めることとしているが、数値や形態に拘らず、家庭養護または家庭的養護の中で、子どもたちが守られ、安心して、拠りどころとなるために、それぞれが何を強みとし、何を大切に育て実践するのか考えを深める必要がある。

本研究会では、里親家庭という「家庭」、または施設という「家庭的」な代替養育の場において、私たち養育者が紡いでいくものはなにか、ということについて、養育現場や当事者の発表をもとに考えてみたい。

開催日時：令和5（2023）年2月11日（土・祝）

13:30～17:15（受付12:30～）

会 場：国立武蔵野学院講堂（東川口駅より徒歩20分）

開催内容（予定）

- | | |
|--------------------|--|
| 1. あいさつ | 河尻 恵（児童自立支援施設 国立武蔵野学院 院長） |
| 2. 令和4年度研究会趣旨説明 | 相澤 林太郎（国立武蔵野学院 心理療法士） |
| 3. 講 演 | 高田 治（児童心理治療施設 川崎こども心理ケアセンターかなで 職員育成支援部長） |
| 4. シンポジウム 【シンポジスト】 | 畑山 麗衣（IFCA / Giving Tree ピアカウンセラー）
則武 直美（児童養護施設 岡山聖園子供の家 施設長）
関根 祥子（国立武蔵野学院 第6寮副寮長）
武田 由（きょうと里親支援・ネットアイ事業拠点(ほっとはぐ)統括） |
| | 【指定討論者】金井 剛（開花館クリニック / 国立武蔵野学院） |

参加者：社会的養護関係者など 約100名（申込み先着順）

参加費：無料

申込み：令和5（2023）年1月10日（火）受付開始

- ・ご希望の方は、氏名・所属・連絡先をメールにて下記事務局宛てお申込みください。
- ・詳細は、12月末に国立武蔵野学院ホームページにて掲載予定です。
- ・受付開始前の1月9日（月）までに送信されたメールではお申込みできませんので、ご注意ください。

児童福祉施設内での開催のため、子どもの生活を守る上で以下の点にご配慮をお願いします。

- ・お車でのご来院はご遠慮ください。
- ・会場（講堂）以外の敷地内への立ち入り及び写真撮影はご遠慮ください。
- ・院内での喫煙はご遠慮ください。
- ・各自、コロナウィルス感染防止の対策を講じてご来院ください。なお、受付時に検温及び体調チェック票の記入をお願いしますが、その結果、感染の可能性が疑われる場合は入場をお断りすることがあることをご了解ください。



国立武蔵野学院 HP
QRコード



事務局：国立武蔵野学院 調査課（柘堀）
メール：sodachi-sodate@mhlw.go.jp
所在地：さいたま市緑区大字大門1030 国立武蔵野学院
電話：048-878-1260（音声案内1）
ファクス：048-878-1244